

スコアシート

配慮項目

環境配慮設計の概要記入欄

建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
評価点	重み係数	評価点	重み係数	

Q 建築物の環境品質・性能

2.7

Q-1 室内環境

2.6

1 音環境

1.1 騒音

1	暗騒音レベル
2	設備騒音対策

1.2 遮音

1	開口部遮音性能
2	界壁遮音性能
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)
4	界床遮音性能(重量衝撃源)

1.3 吸音

2 温熱環境

2.1 室温制御

1	室温設定
2	負荷変動・過渡制御性
3	外皮性能
4	ゾーン別制御性
5	温度・湿度制御
6	個別制御
7	時間外空調
8	監視システム

2.2 湿度制御

2.3 空調方式

3 光・視環境

3.1 昼光利用

1	昼光率
2	方位別開口
3	昼光利用設備

3.2 グレア対策

1	照明器具のグレア
2	昼光制御

3.3 照度

1	照度
2	照度均斉度

3.4 照明制御

4 空気質環境

4.1 発生源対策

1	化学汚染物質
2	アスベスト対策
3	ダニ・カビ等
4	レジオネラ対策

4.2 換気

1	換気量
2	自然換気性能
3	取り入れ外気への配慮
4	経気計画

4.3 運用管理

1	CO ₂ の監視
2	喫煙の制御

Q-2 サービス性能

3.0

1 機能性

1.1 機能性・使いやすさ

1	広さ・収納性
2	高度情報通信設備対応
3	バリアフリー計画

1.2 心理性・快適性

1	広さ感・景観
2	リフレッシュスペース
3	内装計画

2 耐用性・信頼性

2.1 耐震・免震

1	耐震性
2	免震・制振性能

2.2 部品・部材の耐用年数

1	外壁仕上げ材の補修必要間隔
2	主要内装仕上げ材の更新必要間隔
3	配管・配線材の更新必要間隔
4	主要設備機器の更新必要間隔

2.3 適切な更新

1	屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新
2	配管・配線材の更新
3	主要設備機器の更新

2.4 信頼性

1	空調・換気設備
2	給排水・衛生設備
3	電気設備
4	機械・配管支持方法
5	通信・情報設備

3 対応性・更新性			3.0	0.29	3.0	1.00	3.0
3.1	空間のゆとり		-	-	3.0	0.50	
	1	階高のゆとり	3.0	-	3.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	3.0	-	3.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性	3.0	0.17	-	-	
	2	給排水管の更新性	3.0	0.17	-	-	
	3	電気配線の更新性	3.0	0.11	-	-	
	4	通信配線の更新性	3.0	0.11	-	-	
	5	設備機器の更新性	3.0	0.22	-	-	
	6	バックアップスペース	3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境（敷地内）			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.7
LR-1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.1
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			2.5	0.20	-	-	2.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		2.0	0.50	-	-	
	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		照明設備の省エネ手法の導入	3.6	0.40	-	-	3.6
4 効率的運用			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR-2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	
	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム	3.0	1.00	-	-	
1.2	雑排水利用システム		3.0	-	-	-	
	2 低環境負荷材		2.7	0.85	-	-	2.7
	2.1 資源の再利用効率		2.3	0.35	-	-	
2.1	躯体材料の再利用効率		3.0	0.67	-	-	
	非構造材料の再利用効率		1.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料			3.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用			3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性			3.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避			3.0	0.18	-	-	
2.6	1 消火剤		-	-	-	-	
	2 断熱材		3.0	0.50	-	-	
	3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR-3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.2
1 大気汚染防止			-	-	-	-	-
2 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.11	-	-	3.0
2.1	騒音		3.0	1.00	-	-	
	2.2 振動		-	-	-	-	
	2.3 悪臭		-	-	-	-	
3 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.17	-	-	3.0
3.1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	3.2 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制			3.0	0.11	-	-	3.0
5 温熱環境悪化の改善			1.0	0.33	-	-	1.0
6 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.28	-	-	2.6
6.1	雨水処理負荷抑制		-	-	-	-	
	6.2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
	6.3 交通負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
	6.4 廃棄物処理負荷		2.0	0.33	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		集合住宅	-	-	-	面積按分
		3131 m ²	-	-	-	総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	3.0	-	-	-	3.0
3	設備システムの	-	-	-	-	3.6
	高効率化	3.6	-	-	-	
3.1	空調設備	-	-	-	-	-
3.2	換気設備	2.0	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	-	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	3.0	-	-	-	-